



平成 20 年 5 月 16 日

各 位

株式会社バルクホールディングス  
代表取締役社長 村松 澄夫  
(コード番号: 2467 名証セントレックス)  
問合せ先: 取締役管理部長 柏山 一郎  
電話番号: 03-5649-2500 (代表)

### 特別損失の発生及び業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 19 年 11 月 22 日に公表いたしました平成 20 年 3 月期(平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日)の業績予想の修正ならびに特別損失の計上につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 特別損失の発生について

特別損失の主な内訳は、貸倒引当金繰入額 26 百万円及びその他であります。

貸倒引当金の繰入につきましては、連結子会社の外注先に対する債権について回収懸念が予想されるため、保守的に当該債権につき貸倒引当金を計上したものであります。

#### 2. 連結業績予想の修正

(1) 通期の連結業績予想(平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日)

(単位: 百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	1,690	1	7	70
今回修正予想 (B)	1,399	85	79	201
増減額 (B - A)	290	86	86	131
増減率	17.2			
前期実績(平成 19 年 3 月期)	1,687	43	41	23

#### (2) 業績予想修正の理由

コンサルティング事業で情報セキュリティ関連実装事業(株式会社バルクセキュアが主体となって取組んだ事業)が情報セキュリティシステムのハード面の市場ニーズに対応できず大幅に売上を落としたこと、また、マーケティングリサーチ事業でインターネット関連企業が低価格で新たに参入し、大手競合他社の再編等により価格競争力を強めシェア拡大施策を推し進めたことで、既存顧客を奪われ、新規顧客の獲得が進まなかったことにより売上が大幅に減少し、一方で情報セキュリティコンサルティング・内部統制コンサルティングでは堅調な収益を確保しましたが、その減少をカバーすることができず、売上高は計画を下回る見込みとなりました。

以上の結果、連結では計画を 290 百万円下回る 1,399 百万円となる見込みです。

営業利益につきましては、上記売上高の減少による影響の他、マーケティングリサーチ事業及び情報セキュリティ実装ビジネスの案件単価の低下に伴う利益率の低下、計画を上回る新規事業立上げ関連費用の発生、内部統制構築関連費用の増加等により計画を 86 百万円下回る 85 百万円の損失となる見込みです。

経常利益につきましては、受取利息及び為替差益により営業外収益が増加したものの、営業損失の影響により、計画を 86 百万円下回る 79 百万円の損失となる見込みです。

当期純利益につきましては、上述の経常損失の計上による影響のほか、特別損失を計上したことにより計画を 131 百万円下回る 201 百万円の損失となる見込みです。

(備考) 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、様々な不確定要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により上記予想数値と異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

以上